011031_全身麻酔･右人工股関節置換術

ステップ名称	ステップ１		ステップ２	ステップ３		ステップ４	ステップ５	ステップ６	
	1日前	基準日			1日後	2日後～4日後	5日後～7日後	8日後～14日後	15日後
		術前	術中	術後					
到達目標	手術に対する心身の準備ができる			疼痛がコントロールして過ごせる		介助で安全に車いす移乗ができる	自立移動ができる	サークル使用での平地歩行が安定している	
	術後の脱臼予防についての理解ができている			脱臼予防肢位が保てる		身体の移動が安全に行える			
処置	リハビリテーション科を受診します	出室30分前に排尿を済ませます	手術で点滴やおしっこの管などが入ります	酸素マスク、心電図モニターなどをつけます	傷の消毒をします	2日後におしっこの管を抜きます	6日後傷の消毒をします	13日後抜糸をします	急性期病棟から退院・転院または転棟します
	14時ごろ浣腸をします	手術前に弾性ストッキングを着用します		空気圧マッサージ機をつけます	心電図モニターをはずします				
	弾性ストッキングのサイズを測ります				足の運動ができるようになれば空気圧マッサージ機をはずします				
	手術する側のしるしをつけます				創部の管をを抜きます				
	手術する側のしるしを確認します								
検査			手術中にレントゲンを撮ります	血液検査があります	血液検査があります		7日後レントゲンがあります	14日後レントゲンがあります	
							7日後血液検査	14日後血液検査があります	
体温・呼吸・循環	入院時に体温、脈拍などをはかります	手術室へ行く前に体温などをはかります		適宜体温、脈拍などをはかります	適宜体温、脈拍などをはかります	適宜体温、脈拍などをはかります	10時　19時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります
	排便の確認をします								
注射				持続点滴中です 抗菌薬の点滴を行ないます	終了後点滴を抜きます 抗菌薬の点滴を行ないます				
投薬	持参薬があればお知らせください	6時に指示の持参薬を飲みます			朝から鎮痛剤と胃薬を服用します	2日後から血栓予防の薬を開始します			
清潔・排泄	シャワー（足浴）、洗髪、爪切りをします	手術室へ行く前に歯磨きをします			適宜、身体を拭きます	適宜、全身清拭・シャワー・シャンプーをします		14日後抜糸後、シャワー浴ができます	退院後、入浴できます
食事	夕食後から絶食です お茶・水は飲めます	朝から絶食です。 朝7時以降水分は取れません		帰室6時間後に指示で飲水ができます	朝から常食が始まります				退院後、制限はありません
活動・安静度	制限はありません	制限はありません		ベッド上で安静にします ベッドは30度アップまで可能です	創部の管を抜いた後、介助で車いすに乗れます	リハビリ室でサークル歩行練習開始します			退院後、脱臼肢位をとらないよう動作に注意します
	理学療法士、作業療法士が術前評価を行ないます				リハビリを開始します（起き上がりや車椅子練習など）				
					創部の管を抜いた後、介助のもとで車椅子に乗れます				
教育・指導・説明・リハビリ	主治医から手術について説明があります		家族の方は手術待合室でお待ちください	家族の方に手術結果について説明があります	（理）マッスルセッティングの説明	リハビリテーションがあります	リハビリテーションがあります	リハビリテーションがあります	次回外来受診日を確認します
	看護師から手術について説明があります			痛みが強いときはお知らせください	理学療法士、作業療法士から脱臼肢位や術後の自主リハビリについて説明があります				リハビリテーションがあります
	理学療法士から術後自主リハビリについて説明があります								
	薬剤師から薬について説明があります								
	特別な栄養管理の必要性								
書類	手術同意書・麻酔同意書・輸血同意書を提出してください								
	（理・作）リハビリテーション総合実施計画書								
手術									